

令和5年度第4回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和5年8月7日（月）午後1時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階（P1）会議室
- 3 出席委員（会場出席）南委員長代理、網代委員、奈良委員、原委員、槇山委員、吉川委員

4 議事内容

（1）令和4事業年度の業務実績評価に関する審議

- ・ 事務局より資料1-1「公立大学法人大阪令和4事業年度の業務実績に関する評価結果（案）」の説明があり、大項目評価及び全体的評価についての審議を経て、評価結果が決定された。

<主な意見>

- 「大阪公立大学」に関する大項目評価
  - ・ 事務局より大学院課程教育の充実（NO.2）の文言修正、附属病院に関する目標（NO.23～26）の表記を統一したことの説明があった。
  - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「大阪公立大学工業高等専門学校」に関する大項目評価
  - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「府立大学・市立大学」に関する大項目評価
  - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価
  - ・ 事務局よりダイバーシティの推進（NO.49）の文言追記したことの説明があった。
  - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「財務内容の改善」に関する大項目評価
  - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価
  - ・ 事務局より戦略的広報（NO.55）について、前回法人から補足説明のあったメディアでの実績について追記修正したこと、評価にあたっての意見、指摘等についても、前回審議において、新聞、テレビ等メディアでの露出件数について一定評価できるとの意見があり、追記修正したことの説明があった。
  - ・ 単なる広報活動ではなくて、戦略的広報と銘打つからには、広報活動の分析を行い、分析結果を踏まえて評価すべきとの文言を追加したほうがよいのではないかと。
  - ・ 意見を踏まえた修正・追記については、委員長、委員長代理に一任いただきたい。
  - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「その他業務運営に関する重要目標」に関する大項目評価
  - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 全体評価に係る意見
  - ・ 「(1)評価結果と判断理由」について、前回の素案のとおり記載しており、全体評

価にあたって考慮した事項の「② 令和4事業年度における特筆すべき取組み」については、大項目評価で修正した内容を受けて、それぞれ修正していると事務局より説明があった。

- また、「(2) 評価にあたっての意見、指摘等」については、前回の審議を踏まえ、項目ごとに「公立大学」、「高専」、「法人運営」といった記載を追加していると事務局より説明があった。
- 前回の審議を踏まえた修正について、追加の意見はなかったため、修正はなかった。
- 事業年度の業務実績については、「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおり進捗している」を妥当とする。

## (2) 中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価に関する審議

- 事務局より資料2-1「中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果(案)」の説明があり、大項目評価及び全体的評価についての審議を経て、評価結果が決定された。

### <主な意見>

- 「大阪公立大学」に関する大項目評価
  - 全体を通しての表記について、・(中ポツ)で表現されているのが法人の動きで、最後が評価委員会の評価となっているが、主体が違うので、・(中ポツ)で並べているのは体裁上あまりよくないのではないか。
  - 表現の方法については、委員長代理で預かり、検討する。
  - 大項目評価としては、A評価(中期目標の達成状況が「良好である」)が妥当と判断する。
- 「大阪公立大学工業高等専門学校」に関する大項目評価
  - 大項目評価としては、A評価(中期目標の達成状況が「良好である」)が妥当と判断する。
- 「府立大学・市立大学」に関する大項目評価
  - 大項目評価としては、A評価(中期目標の達成状況が「良好である」)が妥当と判断する。
- 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価
  - 理事長のトップマネジメント(NO.44)に関して、令和4事業年度の業務実績について、「おおむね計画どおり」となっているが、令和4事業年度の業務実績の評価はⅡである。「計画どおり」とする評価Ⅲと評価Ⅱとの違いがわかりにくい。
  - 業務実績の評価要領にあるとおり、「“達成度がやや下回るものの” おおむね計画どおり」と表現してはどうか。
  - 事務局にて統一的に表現を見直し、修正を行う。(NO.27、NO.64も同様)
  - 大項目評価としては、A評価(中期目標の達成状況が「良好である」)が妥当と判断する。
- 「財務内容の改善」に関する大項目評価
  - 大項目評価としては、A評価(中期目標の達成状況が「良好である」)が妥当と判断する。
- 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価

- 大項目評価としては、A 評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 「その他業務運営に関する重要目標」に関する大項目評価
  - コンプライアンス等の推進（NO.64）の令和4事業年度の実績評価について、NO.27、NO.44 と同様に、評価Ⅱであるので、「“達成度がやや下回るものの” おおむね計画どおり」との表現に改めるべきではないのか。
  - 具体的な表現については、委員長、委員長代理に一任いただきたい。
  - 大項目評価としては、A 評価（中期目標の達成状況が「良好である」）が妥当と判断する。
- 全体評価に係る意見
  - 前回の審議を踏まえた評価結果と判断理由、特筆すべき取組、評価にあたっての意見、指摘等について、追加的な意見はなく、案のとおり進めることとなった。

以上